

会議の開催結果

1 会議名	平成23年度見沼たんぼ・さいたま市&市民ネットワーク第2回運営会議
2 開催日時	平成23年8月24日（水） 14:00～16:00
3 開催場所	浦和コミュニティセンター第15集会室
4 出席者名	別添のとおり
5 議題及び公開・非公開の別	<p>議事</p> <p>1) 「第3回来て見て見沼たんぼ」の開催に向けて 【資料1】</p> <p>2) 「第3回見沼たんぼクリーン大作戦」について 【資料2】</p> <p>3) 「見沼たんぼのホームページ」の更新について 【資料3】</p> <p>4) 「私の好きな見沼たんぼ2011」写真コンクールについて 【資料4】</p> <p>【写真コンクール第1次審査】</p> <p>報告</p> <p>1) 「見沼田圃アクションプラン」について 【資料5】</p> <p>公開・非公開の別 公開</p>
6 非公開の理由	
7 傍聴人の数	7名
8 審議内容	別添のとおり
9 その他	なし

見沼たんぼ・さいたま市&市民ネットワーク
平成23年度第2回運営会議出席者名簿

平成23年8月24日(水)

見沼たんぼ・さいたま市 &市民ネットワーク会員	大宮河川愛護会	藤木 茂
	NPO 法人 カンゾウを育てる会	室 和成 (代理)
	さいたましみどり愛護会	小野 達二
	NPO 法人 自然観察さいたまフレンド	小野 達二
	日本野鳥の会 埼玉県支部支部	藤掛 保司
	NPO 法人 水のフォルム	藤原 悌子
	見沼市民フォーラム	菊池 元希 (代理)
	見沼たんぼ保全市民連絡会	(欠席)
	見沼ファーム21	島田 由美子
	見沼ふれあい散歩の会	野代 幸一
	見沼ホテル保存会	山崎 睦 (代理)
	見沼福祉農園推進協議会	猪瀬 良一
	浦和西高斜面林友の会	中村 克己
	NPO 法人 地域人ネットワーク	岩井 正三
	芝川の自然を守る会	千原 徹也
	見沼の自然と環境を守る会	中信 光明
	グラウンドワーク in 芝川	梶間 幹一郎
見沼100年構想の会	水野 澄夫 (代理)	

【事務局】 さいたま市都市局	都市計画部みどり推進課課長	安田 昌司
	同 副参事	野村 正美
	同 課長補佐	秋谷 陽一
	同 主査	山田 豊
	同 主任	藪村 智弘
	同 主事	松本 達也

平成23年度 見沼たんぼ・さいたま市&市民ネットワーク 第2回運営会議

日時：平成23年8月24日（水） 14：00～16：00

場所：浦和コミュニティセンター第15集会室

1. 開会

- ① 配布資料の確認（資料1～4）。



運営会議風景

2. 議事

1) 「第3回来て見て見沼たんぼ」の開催に向けて

- ・事務局より、資料1を説明した。

- ①パンフレットは市民の窓口でもらえるのか。（浦和西高斜面林友の会）

→9月1日より、各情報公開コーナーや市立浦和博物館、また対象エリアの協力店舗で配布する。（事務局）

- ・「第3回来て見て見沼たんぼ」の開催について委員より承認された。

2) 「第3回見沼たんぼクリーン大作戦」について

- ・事務局より、資料2を説明した。

- ①前回中止になり市から配布された手袋等を保管しているので、今年度だぶらないように調整してほしい。（日本野鳥の会）

- ②カップも配布されたが必要か。雨であれば個人で準備してくると思われ、必要なればかさばるだけである（浦和西高斜面林友の会）

→個人で準備するのが基本であるが、途中参加の人に向けて配布している。必要ないならば集める等の対応をする。事務局から照会して調整する。（事務局）

- ③今年度は緑区と同じ日程とのことだが、緑区に変更があれば、合わせるようにして、できるだけ合同で開催してほしい。（芝川の自然を守る会）

→他の区と連絡を取りながら行う。（事務局）

- ④当日は小雨決行か。（会長）

→その通りである。（事務局）

- ⑤時期が年々早くなっていると思う。寒い時期なので、見沼たんぼの春の草木を堪能できない（藤原副会長）

→用水の清掃と、桜の花見に向けてこの時期に設定している。ご了承いただきたい。（事務局）

- ・日時、実施場所について委員より承認された。

3) 「見沼たんぼのホームページ」の更新について

- ・事務局より、資料3を説明した。

- ①クイズラリーの応募フォームは、パンフレットの質問形式を合わせないと一般の方が入力しにくいのではないか。（岩井副会長）

→承知した。パンフレットと質問の順番を合わせ修正する。（事務局）

- ②ホームページはトップページが看板になるので、以前のように写真が多く掲載されている方がよいのではないか。(見沼ファーム21)
- 一度修正案で実施してみて、委員の方が前の方が良いとなれば変更することができる。スライドショーや写真を入れることはできる。(事務局)
- ③トップページの「見沼たんぼ」のロゴはローマ字にしなければいけないのか。たんぼの使い方でもこだわりがある人もいるので気をつけたい。(浦和西高斜面林友の会)
- 行政として「見沼たんぼ」をブランド化したいという思いがある。「たんぼ」は「田圃」という漢字を使いたいという思いはある。また、ローマ字表記では「Tambo」を普及させたいという思いもある。委員の方がよろしくないということであれば考えていく。ホームページでは、「たんぼ」はひらがなということで委員の皆様と決めたのでその表記にしておき、表記は統一されていないが、行政としての思い入れはその通りである。(事務局)
- ・事務局に一任する方向で承認された。

4)「私の好きな見沼たんぼ2011」写真コンクールについて

- ・事務局より、資料4を説明した。
- ①選定数は一般部14作品、青少年部3作品とのことだが、それ未満の選定数でもよいか。(さいたま市みどり愛護会・自然観察さいたまフレンド)
- どうしても、選定できないということであればその可能性も考えられる。それで良いかについては皆様で決めてほしい。また、1点違いで入賞数が変わる場合があるので、その際も皆様で検討してほしい。(事務局)
- ・選定基準未満の数でもよいと委員より承認された。
- ②今回の応募作品の中で見沼たんぼ外で撮影されたものはないのか(見沼ふれあい散歩の会)
- 募集要項では見沼たんぼ周辺も含むとしている。事務局で判断出来ないところは市民ネットで判断してほしい。明らかに外れていたものが1件あったが、作者に確認して応募作品から外した。(事務局)
- ④今回30点に絞るとのことだが、2次審査の特別審査員は全作品みるのか。(日本野鳥の会)
- 特別賞として審査員の賞をいただく。2次審査は市民ネットの方に立ち合うことになっている。(事務局)

※議事4)の審議後、「私の好きな見沼たんぼ2011」写真コンクール1次審査会を行った。

3. 報告

1)「見沼田圃アクションプラン」について

- ・事務局より、資料5を説明した。
- ①日立の通りのところで死亡事故や接触事故が起きている。普通道路でないところに、スピードを出す一般車が入っている。告知などの対応はどのようにしているのか。(会長)
- 自転車については、行政に誘導はできない。トラストの箇所などにバイク禁止など部分的なものしかできていない。誘導するにはルールでのPRは必要であると思う。具体的に危険な箇所など教えていただければ、案内等を検討していきたい。見沼たんぼ全部をとというのは、警察との協議もありすぐにはできない。(事務局)
- 最近自転車も速いスピードを出すものが多い。そういった団体に呼びかけるのも必要かもしれない。(会長)

- ②大道橋の所から代用水に上がると行き止まりのところがああり、事故が起こるので対応してほしい。
(日本野鳥の会)
→水資源機構や公安委員会など関係者が多岐に渡るのですぐには難しい。(事務局)
- ③見沼の中では、どこからが農道なのかよくわからない。基本的に市の管轄という理解でよいか。その割には、私たちの団体が補助金をもらって補修作業をしている。いっそのこと、市の管轄を外して、農道にしてハンノキなどを植えて通過交通などを規制したいと考えている。行政は見沼たんぼを“来て見て”と言っているが、見沼たんぼは軟弱地盤のため道路や駐車場も整備した上でPRしてほしい。(藤原副会長)
→農道用として全て通ってよいということではない、スピードを落とせるクランクなどの整備は考えられる。代用水の道路からやっていて、自治体や通過交通で通る車の方などに意見を聞いて検討していきたい。(事務局)
- ④多様な主体による樹木の保全とあるが樹木とはどこのことか。(会長)
→これからご意見を聞く段階である。保全をPRすることや、市民講座など保全について知ってもらう取組をやっていききたいと思っている。(事務局)
- ⑤見沼たんぼの中では、道路や駐車場について行政で力を入れていただきたい。
→皆様にアイデアをいただいて、社会実験などもご協力いただきたい。(事務局)
→代用水沿いはおかげさまで遊歩道化し、たくさん散歩している人がいる。ベンチで涼んだり、お弁当を食べている人もいる。そのため、周辺の直売所でも以前より4倍売れるようになった。(浦和西高斜面林友の会)
- ⑥この計画と市民ネットの関わりはどのようなものか。(会長)
→今後、実施に当たってご協力が得られるのか伺っていききたい。また、新しいご意見があれば伺っていききたい。(事務局)

2) 「私の好きな見沼たんぼ 2011」写真コンクール1次審査結果について

- ①応募作品数 169 点のうち、1次審査の結果、一般部門 29 作品、青少年部門 5 作品が選定された。
- ②1次審査で 30 作品選定する予定であったが、30 作品目が同点で 29 作品あり、委員の承認により、29 作品を選定することで承認された。



1次審査会風景

4. その他

- ①埼玉大学経済学部3年インターン生(6名)感想
- ・見沼たんぼを歩いて広いと感じた。見沼たんぼの一番の見所はどこか。
 - 市民ネットのメンバーはそれぞれ現場を持って活動している。皆自分のところが一番良いと感じているのではないかと。訪問者として見るのと、汗をかいて見るのは違う。体験すると昔に開墾した百姓の想いや、四季それぞれの良さがわかってくる。(会長)
 - ・見沼たんぼを歩いて観光より、生活の場所であると感じた。市民ネットの方は、一般の人に見に来て欲しいと感じているのか。
 - 都心の近くで1,260haが残されているというのが奇跡である。少なくとも何とか残していこうとい

う想いで活動している。環境を守っていこうとしているところを見て欲しい。(浦和西高斜面林友の会)

- ・見沼を歩いて見て、ずっと歩き通しだったが、見沼の良さを座って鑑賞したかった。
- ベンチやトイレは見沼たんぼにあまりない。市に作ってもらいたい。(見沼ふれあい散歩の会)
- ・見沼田圃散歩道マップに沿って歩いた。遊歩道のあるところは歩きやすかったが、歩道さえないところは、車のスピードも速く歩くのに危険であった。遊歩道の拡張やトイレがもう少し欲しいと感じた。
- ・見沼たんぼを歩く中で、沢山の鳥がいると説明看板があった。サギやカワセミも見られるとのことだが、どうしたら見ることができるか。また、見沼見聞館は使いやすかったが、公園のトイレは入りづらかった。
- 浦和博物館で第3日曜日に野鳥の会の活動をしている。今は120種くらい見られる。
- ・推奨されている散歩道コースは約2時間のものであり長いと感じたが、市民ネットの方は短いと感じるのか。(日本野鳥の会)
- コースは2時間で約7.5kmである。慣れてくるとショートカットなどもわかり、また長くは感じなくなる。(見沼ふれあい散歩の会)
- 野鳥の会でも1回の講習で2時間は歩き通す。長くは感じない。(日本野鳥の会)
- ②次回、平成23年度第3回運営会議は、平成23年11月16日(水)14時からコンナール9階第15集会室にて開催予定。

5. 閉会

以上